

|       |                         |       |          |
|-------|-------------------------|-------|----------|
| 授業科目名 | 保育内容（環境）(A)             | 科目コード | K1202P07 |
| 英文名   | Childcare (Environment) |       |          |

|      |             |
|------|-------------|
| 科目区分 | 子ども育成の内容・方法 |
|------|-------------|

|       |         |       |         |
|-------|---------|-------|---------|
| 職名    | 准教授     | 担当教員名 | 石倉 卓子   |
| 学部    | 子ども育成学部 | 学科    | 子ども育成学科 |
| 曜日    | 木曜日     | 時限    | 4限目     |
| 開講時期  | 2年前期    | 授業の方法 | 講義      |
| 必修・選択 | 選択      | 単位数   | 2単位     |

|       |   |  |  |  |
|-------|---|--|--|--|
| 授業の概要 | 「環境を通して行う教育・保育」「遊びを中心とした総合的な教育・保育」を踏まえ、乳幼児が周囲の様々な環境に主体的に関わり、それらを生活に取り入れようとする力を養うための指導法を身に付ける。 |  |  |  |
|-------|---|--|--|--|

|       |      |       |        |       |
|-------|------|-------|--------|-------|
| キーワード | 保育内容 | 保育の環境 | 領域「環境」 | 環境の構成 |
|-------|------|-------|--------|-------|

|      |  |
|------|--|
| 到達目標 | 乳児保育の3つの視点、領域「環境」の専門的な事項や小学校の教科とのつながりを理解することができる。(20%)             |
|      | 様々な素材に触れたり、植物に触れたり、見立て遊びや自然に関わる遊びを行ったりして、その指導法を具体的に考えることができる。(50%) |
|      | 環境を構成することの大切さを理解し、教育・保育のねらいに沿った環境構成図を作成・発表することができる。(30%)           |
|      |  |

**卒業要件・資格関連等**

| 卒業要件 | 幼稚園教諭 | 保育士 | 小学校教諭 | 社会福祉士 | スクール<br>ソーシャルワーカー |
|------|-------|-----|-------|-------|-------------------|
|      |       |     |       |       |                   |

|            |                               |
|------------|-------------------------------|
| ディプロマポリシー  | 教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上） |
| カリキュラムポリシー | 子ども育成の理論と実践                   |

**キー・コンピテンシー（重視する能力）**

| コミュニケーション力 | 協働力 | 課題解決力 | 人間理解力 | 教育支援力 |
|------------|-----|-------|-------|-------|
|            |     |       |       |       |

**教授方法（授業方法）**

| 知識教授型 | 対話型授業 | 演習・反復型授業 | グループ演習 | 地域フィールド・ワーク | 授業外学修指導・自主活動 |
|-------|-------|----------|--------|-------------|--------------|
|       |       |          |        |             |              |

授業計画

| 回数  | 授業内容 詳細   | 標準時間 |
|-----|---|------|
| 第1回 | 総論から各論へ 領域「環境」のねらいと内容<br>(1～15回は、幼稚園・特別支援教育の実務経験のある教員による授業)   |      |
|     | 【予習】テキストP24～、P36～に目を通してくる。<br>保育所保育指針や幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領のいずれかの、領域「環境」の部分に目を通してくる。   | 90分  |
|     | 【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため、乳児保育の3つの視点、1～3歳児及び3歳以上児の領域「環境」に関する一覧表を復習しておく。<br>次回までに、幼児と一緒に育ててみたい草花・野菜(8月までに開花、収穫できるもの)を調べて考えておく。                | 90分  |
| 第2回 | H30年度改訂(改定)の指針・要領の振り返り<br>グループ別: 幼児と一緒に育ててみたい草花&野菜(8月までに開花、収穫できるもの)について話し合います。<br>Websyllabusの感想欄5に草花&野菜名、6にその理由を記入する。                                      |      |
|     | 【予習】テキストP10～23に目を通してくる。自分自身が幼児期に育てた草花や野菜を思い出しておく。また、幼児期に育てやすい植物について調べておく。   | 90分  |
|     | 【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。   | 90分  |
| 第3回 | 「保育内容: 環境～子どもの「やりたい」に応える環境～」DVD視聴を通して(約50分)<br>DVD視聴の感想や大切なポイントを共有します。  |      |
|     | 【予習】乳幼児が保育現場でどのような環境に関わっているかを考えておく。   | 90分  |
|     | 【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。   | 90分  |
| 第4回 | 身近な自然環境や道具についての教材研究とその指導法(水・砂・草花・石・風・太陽光・雪)とリスクマネジメント)<br>「授業時間外の課題の実施について」参照<br>「子どもの遊びと安心・安全が両立するコミュニティづくり」参照   |      |
|     | 【予習】テキストP68～、P80～に目を通してくる。<br>水・砂・草花・石・風・太陽光・雪で遊ぶ時の道具やリスクを考えておく。  | 90分  |
|     | 【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。   | 90分  |
| 第5回 | 幼児期にふさわしい自然遊びの指導案作成<br>6月初旬～7月初旬に、授業時間外で自然遊びをする日時と場所(公園等)、内容、遊びに必要な物等を考える。<br>野菜を育てるグループで活動を行います。   |      |
|     | 指導案枠・指導案記入上の留意点・指導案記入上の留意点 参照<br>1年次保育内容総論「保育ををするときの発達段階ヒント集」参照   |      |
|     | 【予習】テキストP68～、P80～に目を通し、自然遊びに必要な教材や内容を考えておく。<br>『自然と遊ぼう! 感じる力を育む保育環境』(明治図書)は立ち読みできます。<br>保育指導案大百科P.160-178・テキストP.50-66に目を通してくる。                              | 90分  |
| 第6回 | 【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。<br>指導案をもとに自然遊びをしますが、その発表を第12回授業で行います。発表は動画使用もOKです。<br>「自然遊びの指導案」は、5/14(金)までに、グループリーダーがMicrosoft Teams | 90分  |
|     | ブランターでの野菜の苗植え～野菜を育てる基礎知識と子どもへの指導法～<br>天候により、授業回が変わる場合があります。   |      |
|     | 【予習】テキストP68～、P80～に目を通してくる。<br>汚れてもよい服装、日よけ防止、汗拭きタオル等の準備、適切な髪・爪で参加できるよう準備しておく。   | 90分  |
| 第7回 | 【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。<br>野菜の世話・メンテナンスはグループで役割分担し、随時行ふ。購入したいものがあれば教員に相談すること。   | 90分  |
|     | 子どもが生き物と関わる意義の理解と関わり方についての指導法   |      |
|     | 【予習】アリ、ハチ、ダンゴムシ、カエルやカタツムリなど、乳幼児の生活場面で出会いそうな生き物の様子を画像で記録し、授業前までに、Microsoft Teams の指定フォルダに名前を付けて保存しておく(次回、画像共有で全員に公開)。<br>テキストP.101～、教育・保育要領P.264に目を通す。       | 90分  |
|     | 【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。   | 90分  |

|      |   |     |
|------|---|-----|
| 第8回  | 見立て遊びから物的環境の特性や乳幼児の表現を考える。<br>全員が、身近な物で見立て遊びを披露する（1人10秒程度）  |     |
|      | 【予習】テキストP108～に目を通し、乳幼児にとって身近な物や道具でどのような見立て遊びが可能かを考えておく。<br><br>身近な物を1つ以上準備し、それを使って何に見えるかを考え、演じる練習をしておく（例：空き容器、ハンカチ、新聞紙、割りばし、輪ゴムほか多数）。造形のように、切る貼るなどは行わず、そのまま使用する。            | 90分 |
|      | 【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。   | 90分 |
| 第9回  | 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚にかかわる指導法<br>野菜のメンテナンス   |     |
|      | 【予習】テキストP132～に目を通し、乳幼児の生活で数量・図形・標識・文字に関わると思う環境や生活場面について考えておく。<br>野菜のメンテナンスに必要な物があれば準備しておく。  | 90分 |
|      | 【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。   | 90分 |
| 第10回 | 保育現場の画像から遊びや生活に関する環境の構成を学ぶ<br>乳幼児の生活に関係の深い施設や情報環境の理解と活用法  |     |
|      | 【予習】テキストP.24～に目を通す。保育現場の遊びや生活に関する環境サイトや書籍（電子書籍）、保育雑誌をみておく。<br>テキストP.162～に目を通す。自分の住む地域にある子育て支援センターや遊び場についてHPなどで調べておく。  | 90分 |
|      | 【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。   | 90分 |
| 第11回 | 保育のねらいと環境の構成 - 室内の遊びに関する環境構成図作成・発表（グループ毎）   |     |
|      | 【予習】保育現場の室内遊びと環境に関するサイトや書籍（電子書籍）、保育雑誌をみておく。   | 90分 |
|      | 【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。   | 90分 |
| 第12回 | 身近な自然環境に直接触れて親しむ遊びの共有（グループ毎）<br>全グループがPP画像で紹介し、今後のドキュメンテーション作成に活かす。   |     |
|      | 【予習】自然遊びのPP画像をPCで共有できるよう準備しておく。   | 90分 |
|      | 【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。<br>テキストP68～、P80～に目を通し、復習しておく。<br>本日に、「自然と遊ぶ体験PP（画像入り）」を、グループリーダーがMicrosoft Teamsの指定フォルダに名前を付けて保存する。授業当日に教員よりコメントを伝える。 | 90分 |
| 第13回 | 身近な自然環境に直接触れて親しむ遊びの掲示用ドキュメンテーション作成（グループ毎）<br><br>ドキュメンテーション：日頃の保育の中で、子どもたちが遊びや生活を通じて、「どのように育っているのか」、「何を学んでいるのか」、を保護者に伝えることを意図として作成するもの<br>ドキュメンテーションを利用した京都府舞鶴市の取り組み参照      |     |
|      | 【予習】テキストP206～に目を通し、現代の社会状況を考えておく。<br>ドキュメンテーション作成に必要な画像やPC、材料を準備する。画像共有して話し合いながら作成する。   | 90分 |
|      | 【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。<br>ドキュメンテーションの発表者を班で2名決めておく。  | 90分 |
| 第14回 | 身近な自然環境に直接触れて親しむ遊びの掲示用ドキュメンテーション完成（グループ毎）<br>野菜の収穫、メンテナンス   |     |
|      | 【予習】作成したドキュメンテーションについて、「どのように育っているのか」、「何を学んでいるのか」を保護者に伝える工夫や、遊びの環境構成や配慮点について発表できるようにしておく。   | 90分 |
|      | 【復習】保育環境や領域「環境」のねらいや内容は毎回の授業の始めに確かめをするため覚えられるようにしておく。<br>Googleフォームに発表の感想を本日中に入力・送信する。  | 90分 |
| 第15回 | ドキュメンテーションの発表<br>聞きたいグループの掲示スペースに集合（5人程度：1～3回各10分、グループの説明担当者も3人決めておく）   |     |
|      | 【予習】ドキュメンテーション説明担当者を、グループで3名決めておく。  | 90分 |
|      | 【復習】15回分の授業内容を振り返り、学びを整理し、Googleフォームに8/5（木）までに入力・送信する。<br>掲示用ドキュメンテーションは、しばらく公開し、再試発表日の8/24（火）にグループで片付ける。   | 90分 |

|      |           |  |
|------|-----------|--|
|      | 定期試験は行わない |  |
| 第16回 | 【予習】      |  |
|      | 【復習】      |  |

|      |  |
|------|--|
| 評価方法 | 到達目標 ~ について、ドキュメンテーション発表への感想30%、受講態度（発言・発表内容など）20%、提出物（生き物の画像10%、最終回の学びの振り返り40%）50%で評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。DP（人間性：15%、社会性：15%、専門性70%） |
|------|--|

|                |                           |                |                             |
|----------------|---------------------------|----------------|-----------------------------|
| 使用資料<br><テキスト> | 無藤隆監修『事例で学ぶ保育内容 領域環境』萌文書林 | 使用資料<br><参考図書> | 文部科学省<br>平成29年告示『小学校学習指導要領』 |
|----------------|---------------------------|----------------|-----------------------------|

|        |  |
|--------|--|
| 授業外学修等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3密・「新しい生活様式」に留意し、公園などの自然環境を利用した遊びを体験してください。</li> <li>・自宅でできる人は、植物を育てる経験をしてください。絵日記を付けると記録が残って後に役立ちます。</li> </ul> |
|--------|--|

|         |  |
|---------|--|
| 授業外質問方法 | 授業後やメール（ishikura@tuins.ac.jp）、オフィスパワーを利用して下さい。 |
|---------|--|

|          |                   |
|----------|-------------------|
| オフィス・パワー | 水曜日5限（E-403石倉研究室） |
|----------|-------------------|